



URL http://jcpkoganei.com

市民相談は日本共産党へ

森戸よう子 ☎042-383-0514 東町 5-14-10
水上ひろし ☎042-301-9521 緑町 1-6-7 光ハイツ
たゆ 久貴 ☎042-203-1362 貫井北町 1-25-7-4101

厚生文教委員会 学校給食費の無償化を求める陳情は継続審査に

8月2日、厚生文教委員会が開催され、継続審査となっている「学校給食費の無償化を求める陳情書」が審査されました。署名は前日までに追加署名として1512筆届けられ、署名の総数は2467筆となりました。

森戸よう子議員は「学校給食費の無償化は全国的にも都内でも広がっている。東京都のホームページによれば22の市で完全も

しくは一部無償化を行っている」「学校給食費の無償化は重要であり、家庭環境に関係なく食育の充実を図ることができる。保護者が安心して子育てできる環境をつくることのできる。教職員の給食費の徴収事務の負担軽減になる」

「都内では無償化している市としていない市と格差が生じており、是正するべき」「地場産野菜の使用の向上が重要であり、農業

者への支援も必要である」「新庁舎建設の関係もあり、財政計画を見直すとしているが、学校給食費の無償化をすることを含めて検討するべき」と実現を求めました。

8月1日、令和6年度第2回地域公共交通活性化協議会が開催され、冒

市は「格差の是正についてはおっしゃる通り。市長会の要望項目にあり、国が責任をもって行うべきである」、また「東京都に補助制度の拡充を要望することを話し合っている」「農業者への支援は現時点では、経済課が用意している支援を行っている。それ以外にいい支援策があれば関係各課と連携していきたい」と答えました。

日本共産党の都議団及び各地方議員団は、7月26日に東京都に対して学校給食費の無償化を継続して行うことの申し入れを行っています。



本格的な暑い夏がやってききました。この時期は毎年、原水爆禁止世界大会が開かれています。今年も6日に原水爆禁止世界大会ヒロシマデー集会が開かれました。広島に原爆が落とされて79年になります。核兵器のない平和で公正な世界の実現を目指して、草の根の粘り強い行動がずっと続けられています。ここ小金井市内でも、私は今年も参加できませんでしたが、核兵器の廃絶を訴える平和行進が毎年行われました。暑さに負けず、強い思いと希望をもって毎年続けられています。

まちかど相談会&フードドライブ 「生活が大変」「協力したい」の声寄せられる

8月3日、小金井社会保障推進協議会は武蔵小金井駅南口の交番横で、まちかど相談会とフードドライブをそれぞれ行いました。

フードドライブには、開始前には列ができるほどになり、多くの利用者が訪れました。「生活が大変なので助かる」などの声が寄せられました。

また「協力したい」と、カンパを寄せてくださる市民もいました。

小金井社会保障推進協議会ではコロナ禍で暮らしが大変な状況においてフードドライブに取り組んできました。物価高騰や社会保障の削減などですますます生活が大変になる中で、継続して取り組んでいます。

まちかど相談会には、森戸よう子、水上ひろし、たゆ久貴各議員が対応しました。

次回の日程は、12月21日(土) 14時から、武蔵

バス事業者の人員不足が深刻

8月1日、令和6年度第2回地域公共交通活性化協議会が開催され、冒

頭に京王バスから、市に対してココバスの東町循環と中町循環の2路線について2027年3月31日をもって終了したい旨の申し入れを行っていることが発言されました。

廃止の理由について、「深刻なバス乗務員不足、平均年齢が上がり退職者が出ていくこと、採用できる人数が退職者に追いつかない状況である。運賃改定による処遇改善したが、退職の流れが止まっていない。またドライバーの1日あたりの労働時間を規制する働き方改革の適用によって運行が困難になっていく。このため都内各所でバス路線全体の再編成に

取り組む、一般路線も減便やダイヤ改正などを行っている。そのためコミユニティバスについても対応をしないわけにはいかない事態である。小金井市だけではなく、他市でも同様の対応をさせていた。申し入れは結論ありきではなく、何か持続可能な運営方法は、何か、良い方法を模索していくため、皆さんと協議したい」との旨が述べられました。

小金井駅南口で開催する予定です。暑い中、フードバンクに並ぶ市民、対応するスタッフ



小金井市は、「今後丁寧にバス会社と協議していく」と表明がされました。日本共産党は、高齢者などの足の確保となっている2路線の存続を要求しています。

日本共産党は核抑止力論には立ちません。他国が核兵器を持っているからと言って、自国も核兵器をもつていいのかが問われています。核抑止論に立たずに、核兵器の廃絶こそが、核兵器のない平和な世界の実現への確かな道だと思えます。核兵器禁止条約を力にして、

(たゆ久貴)